

米軍横田基地所属垂直離着陸輸送機
C V－2 2 オスプレイの飛来に対する抗議決議

10月15日、C V－2 2 オスプレイ 2機が昨年11月29日の鹿児島県屋久島沖合の墜落事故後、初めて嘉手納基地に飛来した。

報道によると、米海軍航空システム司令官は、公聴会で屋久島沖の墜落事故は「前例のない壊滅的な機械の故障」が発生していたと証言しているが、根本的な事故原因が特定されないまま運用されている。また、本年現地時間11月25日、複数の米メディアによると、米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV－2 2 オスプレイが飛行前に安全上の懸念が生じ飛行停止となる事故も発生し、上院と下院の一部議員らは国防長官に全軍のオスプレイの運用停止を要請した。

これまで基地周辺住民が配備撤回を求めてきたにもかかわらず、度重なる飛来は恒常的運用と言わざるを得ず、強い憤りを禁じ得ない。

よって、本町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 欠陥機として指摘されている全てのオスプレイを即時撤去すること。
- 2 軍用外来機飛来・暫定配備を中止し即時撤去すること。
- 3 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、機能移転・訓練移転を図ること。
- 4 騒音防止協定を遵守し、嘉手納基地の騒音軽減を確実に実施すること。
- 5 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 6 全ての在沖米軍基地を整理縮小し、段階的に撤去すること。

以上、決議する。

令和6年12月10日

沖縄県中頭郡北谷町議会議長 仲地 泰夫

あて先

米国国防長官	米国国務長官	駐日米国大使	米インド太平洋軍司令官
在日米軍司令官	嘉手納基地第18航空団司令官	在沖米四軍沖縄地域調整官	
在沖米国総領事			